

# WILL 教育ゼミ生への緊急メッセージ

大切なお知らせも含まれていますので、  
必ず保護者様とお子さまと一緒に読んでください。

「新型コロナウイルス」の感染拡大はいまだ終息の気配が見えません。それどころか、オミクロン株という変異ウイルスによる感染力の脅威は日に日に増すばかりです。ニュースでは、連日のように悪化の一途を辿る新型コロナウイルスの感染状況が報道されています。

一方で、「オミクロン株による感染は、症状は軽く、重症に至る割合は少ないので、深刻に考える必要はない」との情報も氾濫しています。

しかし、今回の「第6波」は、大阪府で毎日のように新規感染者が1万人を超え、しかも、未成年者の新規感染者が増大しているのです。そして、とうとう「まん延防止法等重点措置」も適用されました。学校でも休校や学年閉鎖、学級閉鎖が相次いで起こっています。もしかしたら、また「緊急事態宣言」が発令されることになってしまうかもしれません。

これまで以上に子ども達の安全を守るための対策を講じることが急務となっています。

新型コロナウイルス感染拡大は対岸の火事ではなく、誰の身にも起こりうる身近な脅威となってきました。WILL 教育ゼミでは、気を抜かず新型コロナ感染予防の徹底に努めていますが、ここで、改めて塾の基本方針をお伝えしておきたいと思えます。

- ① WILL 教育ゼミ生とご家族、教職員とご家族、そして国民の生命の安全
- ② 地域子ども達への質の高い教育活動
- ③ WILL 教育ゼミ生のご家庭への教育的支援

お子さまの、健康、命が何よりも大切です。まずはこの原則に沿って、私たち WILL 教育ゼミは様々な状況に対応していきます。

しかし、子どもたちの学力の向上と健全な成長を実現するための教育活動は決して止めてはなりません。たとえ学校が休校しようとも、WILL 教育ゼミは、決して子どもたちの学びの機会を失わせてはならないと考えています。

このようなことから、WILL 教育ゼミでは、出来る限りの教育成果と感染拡大防止を両立させるため、2月14日(月)から始まります定期テスト対策講座「ぶっ期末」を、分散登校による「対面授業」と「オンライン・ライブ授業」を併用した、「ハイブリッド・ぶっ期末」として実施したいと考えました。

## 2/14(日)～3/3(木)の期間、 「WILL ハイブリッド “ぶっ期末”」実施 (「対面授業」と「オンライン・ライブ授業」の併用)

※ 日程は、学校・学年ごとに異なります。

お子さまの安全を考えれば、本当は、すべて「オンライン」で実施すべきなのかもしれません。けれども、定期テスト対策という性質上、どうしても生徒たちの質問が飛び交います。生徒一人ひとりに対応しながら、痒い所に手が届く指導が必要なのです。

ところが、「対面授業」と比較して、「オンライン授業」はコミュニケーションが難しく、少し伝わりづらさが生じてしまうかもしれないのです。

それは、一昨年の学校休校の際に実施した“WILL ONLINE SCHOOL”の時に感じた、私たち教職員の実感であり、多くの生徒たちの声でした。

生徒たちは、学校の定期テストの結果によって、普段の勉強の頑張りを評価されてしまうのです。私たちは、その生徒たちの力になれないもどかしさを感じながら指導するのは、あまりにも耐えがたい苦痛です。生徒たちにとっても、「対面授業」なら平気で質問できるところが、気軽に質問できない口惜しさをかみしめながら勉強するというのは、私たち以上に辛いことだと思います。出来る限りの教育成果と感染拡大防止を両立させ、これまでと同様の定期テスト対策を行う方法を試行錯誤し、専門機関の指導も仰ぎました。

その結果、「ハイブリッド “ぶっ期末”」を実施することに決定したのです。

WILL「ハイブリッド “ぶっ期末”」の特長は、

- 家にいながら、いつものベテラン専任講師のもとでテスト勉強ができます。
- 時間割に従って授業に参加するので、テスト対策の勉強が十分にできます。  
(テスト対策は、今までと同様の時間数を組んでいます。)
- オンラインでは質問しにくいことも、対面授業の際、先生に質問をすることができます。(オンラインの中でも、質問をすることは可能です。)
- オンラインでは、新型コロナウイルスに感染するリスクがありません。また、対面授業も分散登校なので、比較的“密”になりにくく、感染リスクは減少します。
- 必要なプリントも、対面授業の際に受け取ることができます。
- 他の塾生と同じ時間を共有するので、一人で勉強するよりも、モチベーションが上がります。

# WILL 教育ゼミ生のあなたへ

---

ここで、あらためてあなたにお願いがあります。

一つは、「オンライン授業」の際は「対面授業」のときよりも真剣に取り組もうとしてほしいのです。画面上にあなたの顔は映っていると思いますが、手元までは確認することができません。適当にやろうと思えば、できる状況にあるのです。

けれども、このような状況の中だからこそ、本気で頑張ってもらいたいのです。誰かに監視されていない状況で、本気で頑張れる人間になってもらいたいのです。

そして、思うように質問できないかもしれませんが、オンラインではしにくい質問も、対面授業ならできます。オンラインの際、質問したい事項を書き留めて置き、対面授業の際に質問するようにしてください。

もう一つは、以前オンライン授業を経験した人ならわかると思いますが、授業に参加できない、画面が固まった、音が聞こえないといったトラブルは必ず起こると思っておいてください。トラブルが起きたり、なかなか上手く授業に参加できなかったりすると、イライラしたり、「もう無理」と思って諦めそうになったりするかもしれません。でもそれは、操作に慣れるまできっと多くの人が経験するであろう、一つの関門です。絶対に諦めないでくださいね。先生がちゃんとあなたのサポートをします。

## ピンチをチャンスに変える学びへ！

---

このような状況の中で、“あなたを守り”、かつ、“あなたの学びの機会を確保する”という二つの命題をともに満たせる方法として私たちは“ハイブリッドぶっ期末”を実施することにしました。本当は、もっといいアイデアがあるのかもしれませんが、しかし、今現在私たちに考え付く最善の方法はこれだったのです。

学年の最後に行われる学年末テストは、普通最も出題範囲が広く難しいというのが例年の傾向です。このようなテスト対策を一部オンラインで行うというのは、もちろん私たち本意ではありません。多分、あなたにも不安があることだと思います。

しかし、是非この機会を、新たな学びのチャンスだととらえてほしいのです。いつも先生のいる前で長時間の勉強をしていることに慣れている人には、物足りなさや歯がゆさを感じるかもしれません。初めて経験する人には苦痛を感じるかもしれません。けれども、こんなときだからこそ、本当の自分を試せるいい機会だと思って頑張ってもらいたいのです。

そして、3月10日（木）から始まる塾の新学年のスタートを、今よりもさらに成長した姿で迎えられるようにしましょう。私たちも、成長したあなたの夢の実現のため、できる限りの努力をしていきたいと思っています。

# お父さま、お母さまへ

---

2年前、緊急事態宣言が発令され学校が休みになった時、WILL教育ゼミの緊急会議で全社員で誓いを立てました。状況がどんなにハードであろうとも、私たちは地域子ども達への教育の手を止めることはしない。After Coronaの世界を築き上げるのは、間違いなくこの子たちなんです。With Coronaの只中で、嘆き、愚痴をこぼし、誰かのせいにし、しっぽを巻いて逃げる、そんな大人の背中を子ども達に見せるわけにはいかないのです。

イノベーション。革新、刷新。変化への恐怖に抗いながら、過去に築き上げた古い価値に代わる新しい価値を、私たちは探し出さなければなりません。教育業界においてそれは、オンライン教育なのかもしれません。世界に日本が遅れている分野です。

私自身、古臭い価値観を大切にしている人間ですので、正直申し上げるとオンライン教育というものには未だに抵抗があります。しかし、このような状況で私たちがやるべきことはこれを併用することしかないと確信しています。子どもたちの学力向上、受験成功、脳力開発を絶対に実現させるために、既存の映像授業の配信などという生ぬるいことはせず、普段通りの“ぶっ期末”を担当の講師がライブで行います。

生徒たちがこの学びの形に慣れるまで時間がかかるかもしれません。ネットや機器のトラブルもあるでしょう。子どもたちの授業への参加意識を高めるのも難しいでしょう。それを見越したうえで、私たちはできる限りの知恵を絞って、未来に生きる子どもたちのために、たくさんチャレンジをしていきます。

勝手な持論ばかり述べてきました。保護者の皆様の中には、納得できないとお怒りの方々もいると思います。けれども、今私たちに思いつく最善の方法はこれだったのです。もしかしたら、もっと良い方法が見つかるかもしれません。その時は、即座に皆様にご連絡いたします。どうかご理解とご了承くださいますようお願い申し上げます。

保護者の皆様の声に耳を傾けながら、これからも一步一步確実に歩みを進めていきたいと思えます。どうか忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせください。一日でも早い事態の収束を願うばかりです。お父様、お母様におかれましても、どうかくれぐれもお体にはお気を付けてください。

WILL 教育ゼミ  
塾長 岩田善次